

# 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識および能力

## (国際文化学部)

令和元年(2019年)5月1日現在

### 1. 国際文化学科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

#### ○基礎教養科目

本学の建学理念に基づき、専門科目で学ぶために必要な基礎的な知識・態度・日本語運用能力・外国語運用能力・論理的思考力・コミュニケーション力を修得するために、基礎教養科目群を置く。

#### ○学部基幹科目

国際文化学科、文化創造学科共通の必修科目群で、国際文化学部で学ぶに当たり必須の基礎を学ぶ。グローバル化する国際社会において、自己の文化だけではなく他者の文化に向き合うために必要な基本的知識を身につけ、多様な視点から相互の文化を理解する態度を育成する(DP1)のために、学部基幹科目を置く。

#### ○学科基幹科目

基礎教養科目・学部基幹科目をふまえて、文化に関わるより専門的な知識を身につけ、理解をすすめる(DP1)、グローバルな言語状況に適応しながら(DP2)、文化の違いを越えて交流する能力(DP3)を育成するために学科基幹科目を置く。

#### ○学科基礎科目

基礎教養科目・学部基幹科目・学科基幹科目をふまえて、応用的な言語運用能力(DP2)、交流のための企画や提言をする能力(DP3)、課題解決に向けてチームワークができる態度(DP4)を育成するために、学科基礎科目を置く。

#### ○展開科目

基礎教養科目・学部基幹科目・学科基幹科目・学科基礎科目をふまえて、より高度な言語運用能力(DP3)、具体的に課題について相互に有意義な解決にむけて取り組む態度(DP4)と他者と協働し地域の魅力を国内外に発信する行動力(DP5)を育成するために、展開科目を置く。

#### ○演習科目

知識・理解、技術、交流力、対応力、行動力を総合した上で、配当年次に応じたレベルで演習を行い、最終的には、卒業論文・卒業制作・卒業報告として完成させ、社会に貢献する力を育成するために、演習科目を置く。

#### ○関連科目

上記科目群を補う形で、幅広い視野に立った知識や技術を育成するために関連科目を置

く。

#### ○授業方法

それぞれの科目の特徴に合わせ、講義・演習・実習・フィールドワーク・体験型学習などを取り入れている。科目によっては、少人数授業やグループワークなどを取り入れている。

#### ○成績評価

それぞれの科目の特徴に合わせて、授業への参加態度・自主学習態度・レポート・学期末試験・プレゼンテーションなどによって総合的に判断する。また、卒業論文・卒業制作・卒業報告では、最終の成果だけでなく、そこに至るプロセスと達成の度合いなどを総合的に判断して成績を評価する。

## 2. 文化創造学科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

#### ○基礎教養科目

本学の理念に基づき、専門科目で学ぶために必要な態度や知識を身につける科目である。

#### ○学部基幹科目

国際文化学科、文化創造学科共通の必修科目群で、国際文化学部で学ぶに当たり必須かつ基礎的な態度や知識を学ぶ。この科目群を履修することで、多様な視点から相互の文化を理解する態度と自己の文化および他者の文化に向き合うために必要な基本的知識を身につける。

#### ○学科基幹科目

文化創造学科の専門教育の根幹となる態度や知識を学ぶ科目群である。歴史的な文脈を意識しながら、みずからの文化や芸術そして地域文化について知識を深め、地域コミュニティで対話と協調に基づいたパートナーシップを尊重する態度を養う科目群である。この科目群を履修することで「コミュニケーション力」「マネジメント力」といった力を身につけるための基礎を涵養する。

#### ○学科基礎科目

文化創造学科における専門教育の基礎となる知識や技術を学ぶ。地域文化の創造のために積極的に情報や資料にふれ、みずからのアイデアを効果的に表現し、発信するための知識や技術を身につける科目群である。この科目群を履修することで、高度な「文化理解力」「文化発想力」「日本語読解力」といった力を身につける。

#### ○演習科目

少人数制やグループワークを中心とした科目群である。文化創造学科において専門教育を受けるための基礎的な技術を修得する「基礎演習」、専門的知識や技術を修得し創造性をはぐくむ「専門演習」、文化創造学科で学んだことの集大成として論文・報告・制作を企画・遂行していく「卒業演習」がある。これらの演習科目を通じて、伝統的な価値を再発見し、また未来に資する価値をかたちづくるような創造活動に取り組む力を養う。この科目群を履

修することで「プレゼンテーション力」「リサーチ力」「課題発見力」「企画提案力」「意志決定力」「問題解決力」といった力を身につける。

#### ○展開科目

文化創造学科の教育において、日本文化やデザインに関する専門性を深めるための知識や技術、創造性を学ぶ科目群である。重点的な知識や技術を養う科目、発展的な創造性に取り組む科目、実践的な行動力を発揮する科目がある。この科目群を履修することで「追求力」「リサーチ力」「課題発見力」「企画提案力」「意志決定力」「問題解決力」といった力を身につける。

#### ○関連科目

文化創造学科における学修をより充実させるために、それぞれの興味や学修目標に沿って、自由に履修設計できる科目群である。

#### ○授業方法

それぞれの授業の特徴に合わせて、講義や演習、体験やディスカッション、実習やグループワーク、体験型授業、少人数制を取り入れた授業を実施する。

#### ○成績評価

それぞれの授業の特徴に合わせて、自主学習態度・レポート・学期末試験・プレゼンテーション、論文・報告・制作によって成績評価を行う。